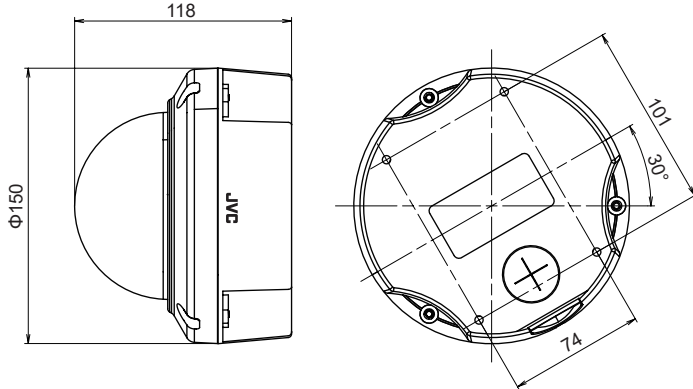


機種名 VN-H258R

表記なき単位: mm

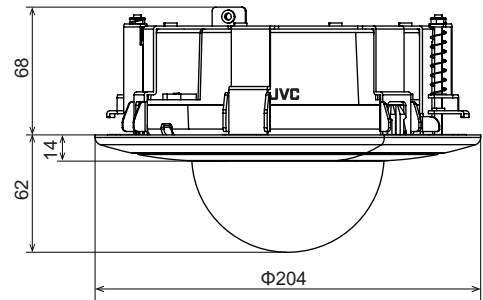
寸法図

- ・パンの可動範囲: $\pm 170^\circ$
- ・チルトの可動範囲: $20^\circ \sim 90^\circ$
(底面に対し垂直となる方向が 90°)
- ・ローテーション範囲: $\pm 95^\circ$



規格

カメラ質量	約590 g
天井埋込ブラケット質量	約330 g



施工例1

設置面に直付けする場合

使用材料

名称	仕様	数量
取付ねじ	M4 (使用アンカーに適した長さのねじ) (付属していません)	4
落下防止ワイヤー	金属製(付属していません)	1

<施工手順>

1. テンプレート(付属)を使用し、アンカーに対応した穴を4箇所あけ、アンカーを挿入する。
2. 必要に応じて、ケーブル通線孔をテンプレート(付属)を使用しあける。
3. 取扱説明書(設置編)の指示に従い、本機を取り付ける。

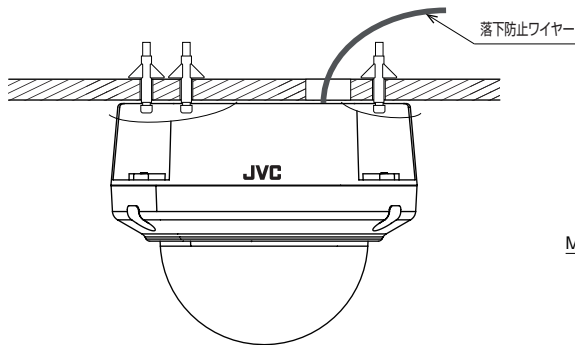


図1 直付け施工図

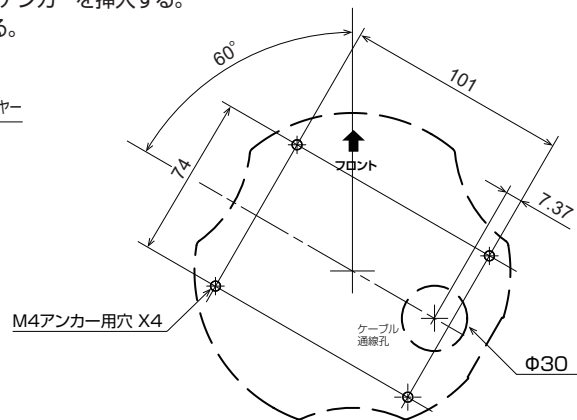


図2 施工寸法図

注意事項

1. 取付面の強度は本機の総質量の10倍以上の強度を確保すること。
強度が取れない場合は必ず補強を施し、強度を確保すること。
2. アンカーは引き抜き荷重100N以上を推奨とする。
3. 落下防止ワイヤー(付属していません)は一方を壁や天井に、もう一方をカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部(図3)に接続すること。カメラ本体の落下防止ワイヤー取付部(図3)は、ケーブルクランプが取り付けられているねじを外して、落下防止ワイヤーとケーブルクランプを共締めすること。
落下を防止するため、本機の質量に耐えられる十分な強度(総質量の10倍以上)の落下防止ワイヤーで天井構造物など、しっかりした場所に取り付けること。
又、落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁すること。
4. 画角調整時にカメラ内部のケーブルを傷つけないよう、注意すること。

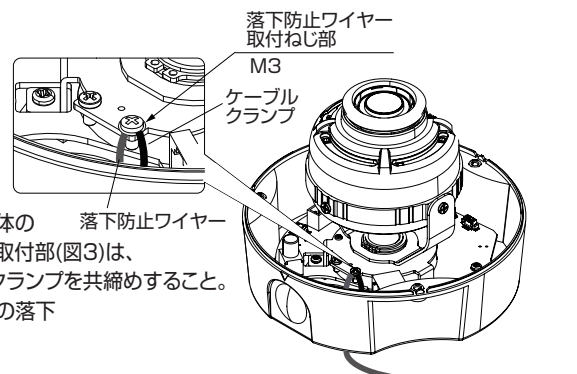


図3 落下防止ワイヤー取付部(カメラ本体)

機種名 VN-H258R

表記なき単位: mm

施工例2

天井埋込ブラケット(付属品)を使用して取り付ける場合

使用材料

名称	仕様	数量
取付ねじ	M4 x 10 mm (付属品)	4
落下防止ワイヤー	金属製(付属していません)	*2 または 1

*注意事項2 参照

<施工手順>

1. 天井にΦ180 mm の穴をあける。
2. 取扱説明書(設置編)の指示に従いカメラを天井埋込ブラケットに取り付ける。(本機に付属のM4ねじ(4本)を使用する。)
3. 取扱説明書(設置編)の指示に従い天井埋込ブラケットを天井に取り付ける。
4. 天井パネルを天井埋込ブラケットに取り付ける。

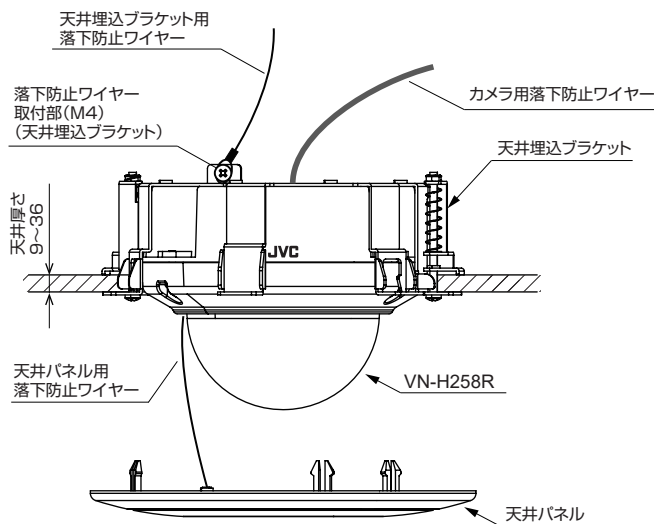


図4 天井埋込施工図

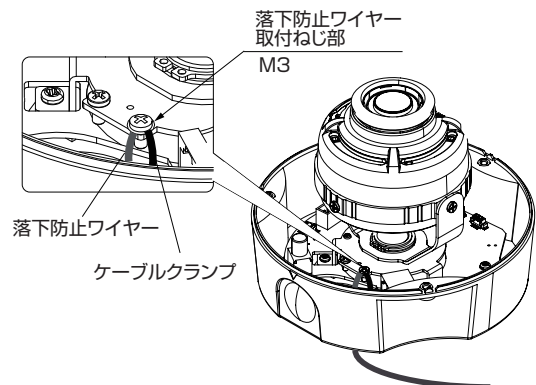


図5 落下防止ワイヤー取付部(カメラ本体)

注意事項

1. 取付面の強度は本機の総質量の10倍以上の強度を確保すること。強度が取れない場合は必ず補強を施し、強度を確保すること。
2. 落下防止ワイヤー(付属していません)はカメラ本体用と天井埋込ブラケット用の2本接続可能。2本接続が望ましいが、最低限、カメラ本体用の落下防止ワイヤーは必ず接続すること。カメラ本体の落下防止ワイヤー(付属していません)は、一方を天井に、もう一方をカメラ本体の落下防止ワイヤー取付部(図5)に接続すること。カメラ本体の落下防止ワイヤー取付部(図5)は、ケーブルクランプが取り付けられているねじを外して、落下防止ワイヤーとケーブルクランプを共締めすること。
天井埋込ブラケットの落下防止ワイヤー(付属していません)は、一方を天井に、もう一方を天井埋込ブラケットの落下防止ワイヤー取付部(図4)に接続すること。落下を防止するため、本機の質量に耐えられる十分な強度(総質量の10倍以上)の落下防止ワイヤーで天井構造物など、しっかりした場所に取り付けること。又、落下防止ワイヤーは天井構造物と絶縁すること。
3. 画角調整時にカメラ内部のケーブルを傷つけないよう、注意すること。